

本リリースは、2020年12月9日に発表されたものの日本語抄訳版です。

2020年12月9日

ブリティッシュ・アメリカン・タバコ 2020年下半期決算前事業報告書

変革、投資、成長を達成

事業報告－2021年1月1日から始まるクローズド期間を目前に控えて

ジャック・ポールズ 最高経営責任者

「BATは『より良い明日を築く』ために事業の変革を進めています。低リスクで愉しめるさまざまな製品の提供を通じて我々の事業が健康に及ぼす影響を軽減することは、当社が行うことができる最大の社会貢献です。燃焼紙巻たばこが深刻な健康リスクをもたらすことは明らかであり、そうしたリスクを回避する唯一の手段は、そのようなタバコを吸い始めないようにするか、あるいは吸うのをやめることです。BATは、それでもたばこを吸い続ける人々に対して、リスクが低いことが科学的に実証された代替商品に完全に移行するよう推奨しています。当社は、新カテゴリ製品事業を最速のペースで拡大させており、現在、当社の非燃焼たばこの利用者はおよそ1300万人に達します。当社は、事業の拡大モメンタムを生かしてリスクを低減する可能性のある代替品である新カテゴリ製品への投資を引き続き拡大させると同時に、財務コミットメントを継続的に履行しています。

2020年を通じて、当社は社員の健康と安心を第一に考えてきました。COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の影響で今年はいかなるにとっても困難な1年間となりましたが、世界中の当社の社員がそうした困難に引き続き真摯に取り組み、尽力していることを誇りに思います。このような厳しい環境下、2020年に好業績を達成できる見通しであることは、ひとえに社員のたゆまぬ努力の賜物です。

私たちは、BATの将来について自信を持っており、2025年度をめどとした新カテゴリ製品の50億ポンドの売上目標の達成を目指しています。

新型コロナウイルスの影響で依然として不透明な環境が続いていますが、当社の事業は堅調に推移しています。」

当社は、3つの戦略的な優先事項を達成しつつあります。新カテゴリ製品における市場シェアを拡大させており、下半期にはさらに投資を増加させました。これには、燃焼たばこ製品の売上の力強い伸びが続いていることと、プロジェクト・クオンタムを通じてより迅速でシンプル化された機敏な企業となっていることが貢献しています。この結果、当社は2020年の業績予想を維持します。業績予想の詳細は以下の通りです。

- 2020年度の同一為替レート調整後の売上成長率は1~3%のレンジの上限近辺と予想。
 - 新型コロナウイルスによる売上へのマイナス影響は約2.5%の減少(従来:約3%の減少)となる見込み
 - 2020年度の業界全体の紙巻たばこおよび加熱式たばこ(THP)の販売数量の減少幅は約5%に縮小(従来:約7%減少)すると予想。米国市場の売上はほぼ横ばい(従来:約2.5%減少)と予想
 - 日本での「glo Sens」の販売終了による新カテゴリ製品の売上に対する5000万ポンドの一時的な影響を吸収
 - 比較対象の2019年下半期が好調だったことが影響
- 2020年度の同一為替レート調整後の希薄化EPS成長率は一桁台半ばを予想。
 - 投資機会と事業の成長モメンタムを背景に新カテゴリ製品に対する投資を拡大させ、下半期にはさらに約2億ポンド増加する見込み
 - 新型コロナウイルスによる関連会社収益への深刻なマイナス影響

- バランスシートのレバレッジの引き下げを継続し、2021 年末までに調整後純負債**/調整後 EBIDA***倍率を 3 倍程度までに引き下げることを目指す。
- 強固な流動性状況を支えに、調整後希薄化 EPS に対する 65%の配当性向および英ポンドベースでの増配を維持する。

内訳は以下の通りです。

- 新カテゴリーのシェアの力強い拡大²が続く
- 比較対象の前年同期が高水準に達していたにもかかわらず下半期に新カテゴリーの売上成長率が上昇
- 当社全体のシェアは金額ベース、数量ベースの双方において拡大しており、年初来でそれぞれ 0.2 ポイント、0.3 ポイントずつ拡大
- 好調な先進国市場事業が主導して前年同期が高水準に達したにもかかわらずグループレベルでの紙巻たばこ製品のプライスマイクスは良好
- 米国事業は堅調な業績をあげており、紙巻たばこの金額ベースのシェアは年初来で 0.4 ポイントと拡大を続ける
- 南アフリカでたばこの販売禁止が予想以上に早期に解除されたこと、先進国市場の販売数量が底堅さを維持していること、新興国市場の販売数量の改善を反映して、世界の業界全体の紙巻たばこおよび THP の販売数量の減少幅は約 5%にとどまると予想
- 米国市場の小売り向け売上 (STR) ベースの販売数量は年初から 10 月までで約 0.4%減と引き続き底堅いことから、米国の紙巻たばこ市場全体の販売数量はほぼ横ばいと予想
- 将来の成長を支えるために新カテゴリー製品への投資は継続する一方で、プロジェクト・クオンタムによる経費削減の加速も一因となり、調整後オペレーティングマージンは成長
- コロナ禍により関連会社収益は大きな打撃を受けており、ITC の収益は 3 カ月遅れて連結化
- 引き続き通期の法人税率は約 25.5%弱となると予想
- 通期の営業キャッシュフローは好調で、調整後営業利益に対するコンバージョン比率は 90%超となる見通し

実勢為替レート*を適用すると、調整後希薄化 EPS 成長率は、2020 年度は約 3.3%の為替差損によるマイナス影響を受ける見通しで、2021 年度については 2%から 3%の為替差損によるマイナス影響が予想されます。

業績アップデートの詳細:

新カテゴリー製品のシェア²の力強い拡大とデバイス売上でのリーダーシップを維持しており、Vuse はペーパー製品の 5 大市場³で拡大

- Vuse は国際ブランドのペーパー製品のなかで、最も高い成長率を記録している銘柄の 5 大ペーパー市場³における金額ベースのシェアは 9 月時点で 2019 年 12 月末に比べて 7 ポイント拡大して 26%
 - 5 大市場すべてにおいて Vuse/Vype のデバイス売上は首位となっており、5 大市場でのデバイスのシェアは 50%を超える
 - 米国では、Vuse Alto の金額ベースのシェアが 2019 年 12 月末から 11 ポイント近く拡大し 19.2%に達するなど、Vuse 系製品全体の金額ベースのシェアが年初来で 24.1%へ拡大、市場首位との格差を引き続き縮めており、米国の 7 つの州で金額ベースでトップシェアを確保
 - カナダでは Vype からのブランド移行が大きな成功を収めたことを反映して市場リーダーとなり、金額ベースのシェアは 10 月に 64%に達した
- 日本のニコチン製品市場全体における「glo」の数量ベースのシェアが 5.9%に達し、ENA でもシェア拡大が続いており、当社の THP の 8 大市場⁴における数量ベースのシェアは約 15%に
 - 日本では、数量ベースのシェアが 2.3%に達した好調な「glo Hyper」に牽引され、glo の 2020 年 10 月の数量ベースのシェアが 2019 年 12 月末との比較で 0.9 ポイント拡大し 5.9%と過去最大となる
 - 「glo Sens」の日本での販売終了により 2020 年度に 5000 万ポンドの一時的な売上の圧迫が発生

- THP の販売数量の伸びは 20% 近くに達する見通しであるものの、売上は日本での Sens の販売終了とたばこ税引き上げによる前年同期比の売上伸び率への影響を主に反映して減少する見込み
- モスクワでは、Hyper に牽引される形で glo のニコチン製品市場全体における数量ベースのシェアが 10 月に 3.3% に達し、THP 市場での数量ベースのシェアは 18% に達した
- glo Hyper は現在 17 市場で販売されており、2021 年にはさらに販売市場を拡大する計画
- **現代的なオーラル製品では、Velo/Lyft が米国以外の市場における主導的な基盤を確立しており、米国でも製品ポートフォリオの拡大に伴い基盤を強化**
 - 北欧地域では現代的なオーラル製品市場における主導的な基盤を確立しており、数量ベースのシェアはスウェーデンでは 61.5%、ノルウェーでは 67.0% に達し、オーラル製品市場全体における数量ベースのシェアは 2019 年 12 月末に比べてそれぞれ 2 ポイント、3.6 ポイント拡大し、それぞれ 4.5%、14.8% となった
 - 米国においては、Dryft 買収により Velo の基盤が強化され、製品レンジが 4 SKU から 28 SKU に拡大し、ニコチン含有量 6mg 以上の製品群にも進出したほか、新たなフレーバーも追加
 - Velo ブランドの Dryft 製品がすでに米国の Circle K 店舗で販売されており、Dryft の既存の約 2 万カ所の販売店に限定されていた流通網が拡大し始めている
 - 米国で生産能力の拡大が進められており、2021 年半ばには生産能力の逼迫が解消される見込み

燃焼たばこは、堅調なプライスマイクスと数量ベースおよび金額ベースのシェア拡大を反映して堅調

- 事業全体では年初来のシェアは金額ベースで 0.2 ポイント、数量ベースでは 0.3 ポイント超の拡大
- BAT の通期の紙巻たばこの販売数量の伸びは市場全体のそれを上回る見込み
- 戦略的ブランド(数量ベースでグループ全体の 67% を占める)では、年初来のシェアが数量ベース、金額ベースでそれぞれ 0.3 ポイント、0.4 ポイントの拡大

米国の業績は、Vuse の金額ベースのシェア拡大の加速に加えて、好調な販売数量、堅調なプライス、継続的な金額ベースでのシェア拡大を背景とした燃焼たばこ製品の目覚ましい伸びを受け好調

- 燃焼たばこおよび非燃焼たばこ事業と堅調なプライスマイクスが下支えとなり、低価格品へのシフトの加速も見られないため、同一為替レートにおける大幅な増収を予想
- 金額ベースのシェア是好調を維持し、Natural American Spirit と Newport に牽引され、BAT 全体の金額ベースのシェアは年初来 0.4 ポイント、プレミアム製品のシェアは年初来 0.5 ポイントそれぞれ拡大
- 戦略的ブランドの数量ベースのシェアは年初来 0.2 ポイント拡大、全体の数量ベースのシェアは年初来で 0.1 ポイント拡大して 35%

レバレッジは 2021 年度末で調整後負債/調整後 EBIDA***倍率で 3 倍程度に低下すると予想**

- 2020 年度も当社の目標値 90% を上回る堅調な調整後営業利益に対するオペレーティング・キャッシュ・コンバージョン比率が継続すると予想
- 2020 年度の予想インタレストカバレッジは 7 倍を超える見込みで、直近の社債発行の成功に伴い債務の平均年限は 10 年超となり、今後は 1 年間に 40 億ポンドを超える債務が返済期限を迎えることはない
- 引き続き信用格付けが現在の BBB+/Baa2**** から中期的には BBB+/Baa1 へ格上げされることを目指す

当社の ESG 戦略は外部により一段と高く評価されており、MSCI による BBB 格付けと最近のサステナビリティクス社の ESG スコアの 28.2 から 27.8 への改善を裏付け

- BAT は 19 年連続でダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)に選定されており、11 月にたばこ企業として唯一 DJSI ワールド・インデックスに算入
- BAT は今年 11 月、2 年連続でフィナンシャル・タイムズ・ダイバーシティ・リーダーズに選定され、当社のスコアは 7.08 から 7.23 に上昇
- 当社は今年 11 月、気候変動に取り組むカーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)の最高評価の「A リスト」に 2 年連続で分類
- 当社は 12 月 10 日、たばこ業界では初となる人権に関するサステナビリティ・フォーカス・レポートを発行

2020 年下期決算前事業報告に関する電話会議の録音再生機能のご利用は www.bat.com までお願いします。

問い合わせ先(英語):

British American Tobacco Press Office

+44 (0) 20 7845 2888 (24 hours) | @BATPress

British American Tobacco Investor Relations

Mike Nightingale / Victoria Buxton / William Houston / John Harney

+44 (0) 20 7845 1180 / 2012 / 1138 / 1263

(注記)

市場シェアに関するデータは(特に明記しない限り)2020 年 10 月時点のものであり、数量に関するデータは年初から 10 月までのもの。

* 足元の米ドル/英ポンドレートは 2020 年 12 月 7 日時点で 1.283。

**調整後純負債とは、関連デリバティブを含む総借入金から現金および現金同等物ならびに売却可能金融資産への投資を差し引いた後の数値からレイノルズ・アメリカン(RAI)買収に伴う取得原価配分調整の一環として RAI から引き継いだ債務の再評価による影響を除外したもの。

***調整後 EBITDA は IFRS により定義された尺度ではない。調整後 EBITDA は、正味金融費用/収益、通常業務に課される税金、減価償却費、損金、関連会社および合弁事業の税引後利益のグループ持分、その他の調整項目を控除前の当期利益。

****信用格付けは、証券の購入、売却あるいは継続保有を推奨するものではない。信用格付けは随時取り下げまたは見直される可能性がある。個々の格付けは、他の格付けと切り離して評価されるべきである。

ここでの数量ベースのシェアは、各製品カテゴリーの総小売販売量に対する当社の同製品の小売販売量の割合。金額ベースのシェアは、各製品カテゴリーの総小売売上高に対する当社の同製品の小売売上高の割合。これらの数字についての詳細は 2019 年度 年次報告書の FORM 20-F、またその他の KPI についての詳細は同報告書の 257 ページに記載。

新カテゴリーは、加熱式たばこ (THP)、電子たばこ、現代的なオーラル製品で構成される。

1. THP と現代的なオーラル製品は数量ベースのシェア、ペーパー製品は金額ベースのシェア
2. THP と現代的なオーラル製品は数量ベースのシェア、ペーパー製品は金額ベースのシェア
3. ペーパー製品の売上ベースの 5 大市場は、米国、カナダ、英国、フランス、ドイツ
4. THP の売上ベースの 8 大市場は、日本、韓国、ロシア、イタリア、ドイツ、ルーマニア、ウクライナ、ポーランド